都市計画（原案）に係る地域説明会　結果概要

１.開催について

近鉄小倉駅周辺地区に係る下記３件の都市計画(原案)について、地域住民にその内容を説明するとともに、広く意見を聴取し、都市計画の案に反映させることを目的として、地域説明会を開催した。（京都府都市計画課 同席）

- 宇治都市計画道路（八幡荘宇治線）の変更について【京都府決定】
- 宇治都市計画道路（小倉駅前広場線）の変更について【宇治市決定】
- 宇治都市計画土地区画整理事業（近鉄小倉駅東口土地区画整理事業）の決定について【宇治市決定】

２.開催結果について

開 催 日 時	会　　場	参加人数
令和 8 年 7 月 13 日（月） 19 時 00 分～20 時 00 分	小倉公民館	１７人
令和 8 年 7 月 15 日（水） 19 時 00 分～20 時 20 分	西小倉コミュニティセンター	３３人
	計	５０人

【開催状況】

小倉公民館【7/13】	西小倉コミュニティセンター【7/15】

３．意見聴取内容について

７月 13 日（月） 小倉公民館

項目	主な意見	市の考え
道路整備	当該都市計画道路に近接する宇治西小倉学園前の交差点では、登下校時に生徒が交差点周辺に集中している状況がある。信号機の設置などの対策に加え、ソフト面も含めた安全対策について、どのように考えているのか。	本市道路建設課や交通政策課でどういった対応ができるのか検討をしているところである。
	現都市計画道路は実現困難であるため、廃止かと思うが、線路を東西にこえるという点では踏切等課題があると感じており、向島 5 号踏切（京都銀行付近の踏切）周辺や現在解体されている京都銀行跡地周辺の道路整備について、今後どのようになるのか確認したい。	東西交通への影響は課題として認識している。ただし、府道と近鉄京都線が近接しており、立体交差などの抜本的整備は物理的に難しい面がある。 今後は、当該踏切周辺における歩道幅員の改善や府道拡幅などの短期対策を進めつつ、長期的には宇治市全体の交通ネットワークの中で東西移動のあり方を検討したい。
自由通路	地下通路に代わるバリアフリー経路とは京都銀行付近の踏切を通る経路のことであるのか確認したい。	向島 5 号踏切（京都銀行付近の踏切）が、現バリアフリー経路。 地下通路にかわる通路については、駅の上を跨ぐ跨線自由通路を検討しており、エレベーターを設置し、バリアフリーに東西を移動できるようにする。その構造や配置などについて近鉄と協議をしている。
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	まちづくり基本計画のイメージ図に示された各整備が、実際にどの程度の期間で完成する見込みなのか。現時点でのスケジュール感を教えてほしい。	まずは、昭和 32 年に決定された都市計画道路を見直す行政手続きを、今年度末（R8 年度末）を目途に進めている。 並行して国との補助金についての協議や測量結果を踏まえた地権者との協議等を進めている。 特に駅東側では、地権者の協力を得ながら駅前広場などを整備していく必要があり、まずは、都市計画手続きを着実に進めたい。そういった関係機関との協議状況も踏まえ、現時点では、何年後に完成するかは未定。
まちづくり	人口減少が進む中で、将来的な再開発や地域全体の再生を見据えた大きな視点が求められる。また、ニンテンドーミュージアムの開業により国内外からの来訪者が増え、新たな人の流れが生まれている。こうした状況も踏まえ、将来のにぎわいにつながるまちづくりを進めてほしい。	人口減少に対応したまちづくりは宇治市全体の課題であり、小倉地域でも教育、産業立地など様々な取組を進めている。 近鉄小倉駅周辺については、駅前のにぎわい低下を受け、駅前広場の整備やバリアフリー対応の跨線自由通路整備などにより、使いやすく魅力ある駅前づくりを進めていきたい。

7 月 15 日（水） 西小倉コミュニティセンター

項目	主な意見	市の考え
都市計画 道路	都市計画道路は、防災面等、広い道路の確保の観点から計画されている中、本路線廃止による交通への影響は小さいとしているが、駅東西の車両通行に関する代替道路はどこを想定しているのかということもふまえ、廃止して問題がないとされた理由は。	廃止による影響は、周辺を含む広い範囲で将来の交通量予測をもとに確認し、代替路線として、最も影響の大きい市道小倉安田線、府道八幡宇治線における状況を確認の上、廃止の方針としたが、いずれの道路も踏切横断の課題を抱えていることから、今後、長期的・広域的な視点で交通課題の検討は必要と考えている。
道路整備	小倉駅周辺の踏切は幅が狭く、朝夕は電車本数も多いため、通行に時間がかかり、住民にとって大きな負担となっている。また、京都銀行跡地周辺の歩道も狭く、安全で歩きやすい通行環境への配慮が不十分であると感じる。	京都銀行跡地については、移転に合わせて既存歩道をより安全に広げられるよう、道路建設課が取組を進めている。
	京都銀行の解体後、近鉄小倉駅北側の踏切周辺がどのように変わるのか確認したい。 特に、踏切西側の道路や歩道の改善内容を教えてほしい。	京都銀行の旧店舗解体により、踏切西側の南側の歩道部で見通しが改善する。 また、歩道については、道路建設課が京都銀行と協議しており、歩道拡幅に取り組んでいる。
	京都銀行付近の踏切について、踏切西側の旧京都銀行側歩道を広くしても、踏切を東へ渡ったら、反対側がメインの歩道になるので、どのような歩行者動線を考えているのか確認したい。	線路西側の市道は南側歩道について拡幅工事予定、線路東側の府道は北側歩道について、京都府により拡幅に向けた取組を実施中であり、それらと踏切を踏まえた歩行者動線は検討中
自由通路	自由通路について、地域では「いつできるのか」「本当に整備されるのか」と不安の声がある。 まちづくり基本計画にはエレベーター設置、エスカレーター設置検討とあるが、現時点でどこまで決まっているのか確認したい。	駅の東西の移動については、線路の上をまたぐ跨線自由通路として整備する方向で検討している。 バリアフリー対応とするためエレベーターは設置予定であり、エスカレーターについては、限られた敷地の中で階段や周辺施設との配置を含め、鉄道事業者と協議している。
	東西移動の課題である自由通路について、鉄道事業者との協議中という説明が続いているため、今年度末までに高架化の具体的な方向性を示し、一日も早く整備を進めてほしい。	昨年度、架線も含め駅構内の測量作業を実施し、その結果を踏まえ、現在はエスカレーター等、より詳細な配置計画等について鉄道事業者と協議を行っている。
	近鉄京都線を高架にする話はどうなったか。	鉄道を高架化する連続立体交差については、実現は難しく、まちづくり検討委員会の中で、現在のまちの課題を解決しうる東西移動の手段として跨線自由通路で整備する方針としている。
駅東口	レインボービル跡地については、ニンテンドーミュージアムへの来訪者も増えている中で、駐車場のような状態のままではなく、道の駅のような人が集まる施設として早く活用してほしい。 府と市が連携し、計画を一つでも具体的に進めてほしい。	現在は、駅前整備を進めるために必要な都市計画手続きを進めており、令和 9 年度の土地区画整理事業の認可を目指している。 レインボービル跡地周辺については、にぎわいを生み出す施設を求める意見を地権者に伝えており、市としても駅前整備を通じて、民間によるにぎわい創出につながる土地利用を促していきたい。
	駅東側ではニンテンドーミュージアムの来訪者により駐車場需要が高まっているが、地権者が駐車場利用のままでよいと考えないよう、にぎわい施設の誘導をしっかり進めてほしい。	駅東口については、土地区画整理事業による駅前広場の整備により土地の利用価値を高め、引続き、地権者ににぎわいを生む土地利用を促していく。

駅西口	駅西口については、暫定駅前広場が恒久化しないか不安があり、今後の具体的な整備方針を確認したい。	駅西口の駅前広場整備については、将来的には広場の北側市道も含め、現在の形より広く整備する方針である。
スケジュール	自由通路や駅前広場が何年後くらいの完成を想定しているのか教えてほしい。	完成時期を現時点で明確に示すことは難しいが、まちづくり基本計画に示しているように、今年度末の都市計画の手続き完了後、R9 年度中に土地区画整理事業の事業認可を目指し進めたい。
まちづくり	駅前だけでにぎわいをつくるのではなく、小学校跡地の活用や、巨椋池干拓田の自然、野鳥観察などを生かし、歩いて回れる健康的で魅力あるまちづくりを進めてほしい。 また、農産物直売所や若者が利用できる低料金の交流施設など、地域資源を活かした集客施設を検討してほしい。 あわせて、歩きやすい小さな道路の整備も進めてほしい。	近鉄小倉駅周辺は、まちの玄関口としての整備に加え、教育・産業・防災等、様々な取組についても進めており、いただいた意見は関係部署と共有し、駅周辺地区まちづくりにおける取組の参考としたい。
	宇治西小倉学園でも、子どもたちが地域の魅力やまちづくりについて考える機会がある。今後も、住民や子どもたちが意見やまちづくりに関するアイデアを出し合える場をつくっていただきたい。	これまでから、節目で説明会等を開催し、意見を伺いながら取組を進めてきているが、いただいた意見を関係部署で共有し、これまで同様、必要に応じて、地域の声を聞く機会を設けたい。
その他	井川だけでなく小倉駅周辺や小倉安田線沿いの排水路にも土砂が溜まり、草が繁茂しているため、関係部署に状況を伝え、排水路の改善も検討してほしい。	市の維持課が担当しており、気になる箇所があれば連絡をいただければ現地確認の上、必要に応じて対応する。
	昨今のゲリラ豪雨等の影響により、浸水被害を受けているところが多いため市民の安心・安全等に寄与する整備を実施していただきたい	宇治市内において、順次、河川の改修や、貯留管の整備などを実施している。今後も京都府をはじめとする関係部署と連携し、防災面強化の取組みを実施する。
	市民が安心して暮らすためには、駅前整備だけでなく、井川や弥陀次郎川などの川底の浚渫など、被害が起きる前の備えを早急に行ってほしい。	井川は京都府の管理河川であるため、本日の意見を府の所管部署へ伝える。宇治市としても貯留管の整備などを進めており、今後も、市民の安全確保に向けて、関係部署や京都府と連携しながら対応していく。
	井川は土砂が大量に堆積しており、水があふれる危険があると感じている。 撤去費用や処分場所の課題はあると思うが、行政として何とかしていただきたい。 特に土地の低い山際地域では被害が懸念されるため、早急に現地確認と対策を進めてほしい。	実際の処分方法までは把握していないが、行政としては、産業廃棄物に該当するものは適切な施設に持ち込み、法令に沿って処分しているものと考えている。 本日いただいた井川の土砂堆積のご意見については、京都府関係部署に伝える。
	都市計画道路の変更にあたり、なぜ住民説明会が開かれているのか、その位置づけを確認したい。	今回の説明会は、３件の都市計画（原案）の変更と決定に係る内容を都市計画手続きの一環として、地域の方に説明し意見を聞く場である。
	説明会での議事の内容を広報などで市民に分かりやすく知らせてほしい。説明会で出た意見がどう扱われたのかが分からないと、参加する意味が感じにくい。	これまでからも節目ごとに地域説明会やオープンハウスで意見を伺いながら取組を進めており、今後もこういった場でいただいた意見をふまえてまちづくりに取り組む。
	駅周辺に高層住宅などが建設される場合は、景観への影響などを十分に考慮し、厳粛に考慮していただきたい。	高層住宅については、景観や日影などの懸念がある一方、空間をうまく使うことで駅前のにぎわいや土地の有効活用につながる面もある。周辺住環境へ影響を確認しつつ、評価していく必要があると考えている。